

## 主題：キリストのからだの実際

メッセージ 13

キリストのからだの実際のために神の恵みによって生きる

聖書：エペソ 1:6-8, 22-23. I コリント 15:10. II コリント 12:9. 13:14.

ガラテヤ 6:18. ヘブル 4:16

### I. 信者たちが神のエコノミーの中で神の恵みを経験することの究極的完成は、キリストのからだとしての召会です——エペソ 1:6-8, 22-23：

- A. 恵みとは、わたしたちの中に入って来てわたしたちの完全な享受となるキリストです——ヨハネ 1:16. ピリピ 4:23：
1. キリストを恵みとして享受することから、キリストのからだが出て来ます——II コリント 12:9. I コリント 12:27。
  2. キリストのからだの實行上の生活はただ、神の恵みとしてのキリストの享受から出て来ます——II コリント 8:9. 13:14。
- B. わたしたちの生活において、また言葉と行動において、神の恵みの経験は、キリストのからだという結果になります——エペソ 1:6-8, 22-23. 2:8. 3:2. 4:4, 16, 29。
- C. キリストの有機的なからだのあらゆる部分は、わたしたちが神のエコノミーの中で神の恵みを経験したことの結果です——ヨハネ 1:16. ローマ 5:21. 12:3-8。

### II. 恵みとは、三つの面（父、子、霊）における具体化としての三一の神の現れです——II コリント 13:14. 民 6:22-27. 詩 36:8-9：

- A. 新約は神の恵みの歴史です。すなわち、三一の神が彼の神聖な三一の中で受肉し、手順を経て究極的に完成され、信者たちの中で、また間で行動し、生きることの歴史です——ヨハネ 1:14, 16-17. 啓 22:21。
- B. 恵みとは、受肉における三一の神が、源としての御父、要素としての御子、適用としてのその霊によって、信者たちの中に分与されることです——II コリント 13:14：
1. 恵みの源、恵みの要素、恵みの適用は、わたしたちのすべてとなる神聖な三一の三つのパースンです——マタイ 28:19。
  2. 神聖な分与の中で、恵みは神の恵み、キリストの恵み、その霊である恵みと呼ばれます——I コリント 15:10. II コリント 1:12. 8:1, 9. 9:14. 12:9. 13:14. ヘブル 10:29。
- C. 恵みとは神の具体化であり、彼は神性と人性を持つ神・人となり、人の生活を経過し、死に、復活し、昇天の中に入りました。今や彼は命を与える霊と成って、わたしたちの中に住んでいます——I コリント 15:45 後半. 6:17。
- D. 手順を経ることなしに、三一の神はわたしたちに恵みとなることはできませんでした——ヨハネ 1:14. I コリント 15:45 後半：
1. 父なる神は御子の中に具体化され、御子は命を与える霊として実際化され、その霊は恵みとしてわたしたちの中に入ってわたしたちの享受となります——ヘブル 10:29。
  2. 手順を経て究極的に完成された三一の神は、ご自身をわたしたちの中に分与して、恵みとしてのわたしたちの分となり、わたしたちは彼の神聖な三一の中で彼をすべてとして享受します——II コリント 13:14。

- E. 恵みとは、神がすべてであり、神がすべてを行ない、神がすべてを与えることを意味します—— I ペテロ 5:10。
- F. 恵みとは、命を与える霊としての復活したキリストが、手順を経た三一の神をわたしたちの中にもたらして、わたしたちの命また命の供給となり、わたしたちが復活の中で生きることです—— I コリント 15:10。
- Ⅲ. 神のエコノミーにおける恵みの下での新約の信者たちの生活は、恵みとしての手順を経て究極的に完成された三一の神を経験する総合計の生活です——ガラテヤ 6:18、ヘブル 4:16、啓 22:21：**
- A. クリスマン生活は恵みの生活、恵みの経験でなければなりません。わたしたちのクリスマン生活は本質的に、神を恵みとして持つ生活です—— II コリント 1:12。
- B. 総合計の生活とは、わたしたちの生活全体が手順を経てわたしたちの恵みとなる三一の神の生活です—— 13:14。
- C. 神の恵みの豊富はあらゆる制限を超越しています。なぜなら、それは神ご自身のあふれ流れる豊富がわたしたちの享受となるからです—— I ペテロ 5:10。
- D. 恵みとは、わたしたちの命としての神ご自身であり、わたしたちと一になり、わたしたちを救い、わたしたちの中に彼のホームを造り、わたしたちの中に形づくられることです——コロサイ 3:4。 エペソ 2:8。 3:17。 ガラテヤ 4:19。
- E. 恵みの中で成長することは、神の増し加わりの中で成長することです—— II ペテロ 3:18。 コロサイ 2:19。
- F. わたしたちは聖徒であるので、主の恵みは日ごとの生活のあらゆる面で、わたしたちそれぞれと共になければなりません——啓 22:21。
- G. わたしたちは外側で何を受けることも、主によってわたしたちのために何をなされることも期待しないで、ただ神の恵みとしての主ご自身を享受することを、学ぶ必要があります—— II コリント 12:9。
- Ⅳ. 恵みとしてのキリストを享受し、キリストのからだの実際のために恵みによって生きようとするなら、主によって打ち破られ、征服される必要があります、主に対して開いた器となる必要があります、キリストにとって清純な処女となり、命の木の原則にしたがって、キリストに対する単純さと純潔の中で生きる必要があります—— 2:14。 4:7。 11:2-3。**
- Ⅴ. 神の恵みの執事職は、キリストのからだの建造のためにわたしたちに与えられました——エペソ 3:2-7：**
- A. 恵みの執事職は、神の恵みを彼の選ばれた民の中に分与して、キリストのからだとしての召会を生み出し、建造するためです—— I コリント 4:1-2。
- B. この執事職から、使徒の務めが出てきます。使徒は、神の家における執事であって、神の恵みとしてのキリストを神の家族に供給します—— 9:17。
- C. パウロの務めは、キリストの豊富を恵みとして信者たちに分与し、彼らに享受させます——エペソ 3:8。
- D. キリストのからだのために、すべての聖徒は神のエコノミーにしたがって恵みの執事職を持っています—— 2, 9 節。